



2017 年 今年も飛躍の一年で !!

撮影 (株)大武写真館 小関克郎

人は人を助け、助けられて生きている

仙台市郡山児童館長(前仙台市立普口小学校長) 榊井 裕

冬の夜、街灯に照らされる雪の塊に、ある体験を思い出す。数年前、酒席の帰り、最終電車を降りて家路を急ぎ大通りに出ると、電柱脇に雪の塊があった。積もり始めにしては大きい。もしまと近づくと人だ。今起こさないと……。「大丈夫ですか」に反応がある。酔っていた。帰宅を促すうちに顔と名前と居住地域を思い出した。老人だが四十年前に新聞配達と集金をした先のお客さんだ。名前と地域を言う。「何で知っているんだ」と。やっぱりあの人だ。幸い目の前がタクシー屋。歩いて帰ると聞かないが、説得して待機部屋へ。だがタクシーは来ない。小一時間が過ぎ、やっと来た。乗せるのにまた一苦勞。運転手に事情を話し地区と名前を伝えるとタクシーは出発。骨の折れる説得劇だったが、ささやかな人助けに幸福感を感じた。

命拾いの思い出もある。大震災の日、息子は海から数百メートルの施設に。学校の避難所にいた私は、津波で息子の命は尽きたと諦めていた。無事と聞いた瞬間の安堵感とはとえようがない。一職員の神懸か리적인統率力の賜物と言われる。私は、冷静な津波予測と避難の即断力、預かった尊い命を守ろうとする使命感と情熱の強さが彼の統率力に表れたと見ている。感謝である。

一昨年、車椅子の息子と散歩したとき、地区清掃の集団にあの老人がいた。大声で指示する彼は地区役員らしい。あの夜を思い出し再び幸せな気持ちになった。

命に関わることに限らず、人は、いつかどこかで人に助けられ、人を助け、それを繰り返して生きている。新たな年も、多くの人が今を生きる仲間という意識で、互いに支え合って生きていきますようにと願う。

年頭に当たって



公益社団法人仙台南法人会

会長 相澤十四男

年頭に当たり皆様にご挨拶を申し上げます。

税務当局、会員の皆様方、税務関係協力団体をはじめ関係各位には、法人会運営に関しまして平素より深いご理解と格別なるご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、公益法人としての目的である、税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制及び税務に関する提言と企業と社会の健全な発展に貢献することを念頭に本部・四支部・青年部会、女性部会の連携のもと税務当局始め関係各位と会員並びに役員の皆様のご協力を頂き事業を進めて参りました。

法人会は、税務当局と呼応し、決算法人説明会や新設法人説明会・年末調整説明会などの研修会、各支部では佐々木伸仙台南税務署長をお招きしての税務研修会の開催をすることができ、併せて参加会員皆様との懇談ができました。税務当局のご理解に重ねて感謝申し上げます。

また、当法人会では、仙台北・中法人会と共に、仙台南税務関係団体協議会と共催で社員教育研修・税務研修・労務研修等を実施して参りました。

更に、仙台南税務関係団体協議会と共に「早めの確定申告の推進」「税を考

る週間」事業として仙台南太白区の「ララガーデン町」において税への理解を深める為、仙台南税務関係団体協議会の構成団体役員並びに仙台南税務署・県市町の行政機関の職員と共に早めの確定申告のお願い、啓蒙チラシや eTax 制度の更なる普及を図るべく来店者へ周知活動を行いました。「税を考える週間」の特別講演として、仙台南税務署佐々木伸署長に「国税に対する不服申立制度」と題して講話を頂きました。

また東北税理士会仙台南支部のご協力を頂きいわぬま市民夏祭り、名取秋まつり、亘理とことん商人祭りの会場に於いて税理士による「無料税務相談」と小学生を対象とした税金クイズ、一億円レプリカの重さ体験、eTax 普及パンフレット・ダイレクト納付の普及パンフレット等の配布を行いました。

社会貢献活動として各支部では地域清掃活動を行い、主に JR 駅前などで早朝時間帯に六回実施しました。ご協力頂きました会員企業の役員・ご家族、関係者の方々に感謝申し上げます。

青年部会では、管内小学六年生を対象に租税教室を開催し税金に対して児童の皆さんに理解を深めて頂いた所でありました。

また、地域の祭りへ出店、スポーツ少年団への備品寄贈、女性部会では移動研修会の実施、またタオル収集を行い特別養護老人ホームへ寄贈と慰問活動を行いました。また、管内小学六年生を対象とした

税に関する絵はがきコンクールの開催、昨年の優秀作品を掲載した「カレンダー」を作成し、管内の小学六年生全員と公共施設等に配布し大変好評を得ている所でございます。

法人会は、東日本大震災後の企業経営と地域経済が厳しい状況の中で何が会員企業と地域の皆様に貢献できるかを考え、そして税務当局と東北税理士会仙台南支部様関係団体にも指導を頂きながら様々な社会貢献活動や事業展開を今後も継続的に行っていく所存であります。

組織としては、減少傾向にある会員の拡大を図り、会員増強を更に進め組織基盤を強固にして参りたいと考えておりますので、「会員増強運動」への皆様の更なるご協力をお願い申し上げます。

併せて青年部会・女性部会は研修や会員相互の親睦等を独自に行っておりますので、是非部会員の紹介を頂ければ幸いです。

法人会は会員企業皆様をはじめ地域の皆様と一緒にタッグを組み未来に向けて勇気を持ち元気を取り戻すよう切に希望致しております。

最後になりますが、会員皆様の企業繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

表彰おめでとうございます

仙台南税務署長表彰

日時 十一月十一日(金)

場所 仙台南税務署

受表彰者

理事 事 菊 地 善 孝 氏

今後益々のご活躍をご祈念いたします。

税に関するお知らせ

仙台南税務署では、平成二十八年分の所得税・消費税・贈与税の確定申告書作成会場を次のとおり開設します。

アズテックミュージアム確定申告センター(仙台市太白区中田町杉ノ下十八)

開設期間は、

二月十六日(木)～三月十五日(水)

※土日を除く(二月十九日及び二月二十六日の日曜日は開設します。)

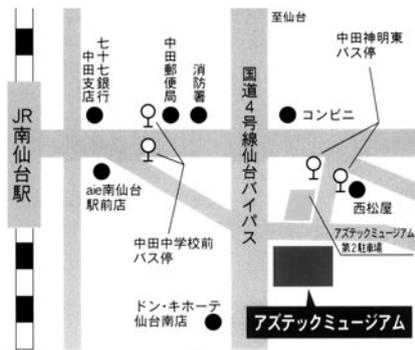
受付時間は、

午前九時～午後四時

仙台南税務署には、申告書作成会場を開設していませんのでご注意ください。

※会場のアズテックミュージアムは、駐車可能台数が少ないので、公共交通機関等のご利用をお願いいたします。

なお、会場は大変な混雑が予想されます。国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」で申告書を作成し、eTax(国税電子申告・納税システム)又は郵送等での書面による提出が、時間を気にせず非常に便利です。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。



新年のご挨拶



仙台南税務署

署長

佐々木 伸

新年明けましておめでとございます。平成二十九年の年頭に当たりまして、公益社団法人仙台南法人会会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

仙台南法人会並びに会員の皆様方には、平素から税務行政の円滑な運営に對しまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

仙台南法人会におかれましては、「税務知識の普及」と「納税意識の高揚」を目的とする事業として、税理士による無料税務相談や税の啓蒙チラシの配布並びに税金クイズのほか、税に関する研修会の開催、小学校の租税教室への講師派遣、税の絵はがきコンクールや税を考える週間での行事の実施など積極的に取り組んでいただいております。改めて深く感謝申し上げます。

また、昨年は、各支部の研修会へ参加する機会をいただき、大変有意義なものになりました。参加するための制約もありますが、できる限り参加したいと考えておりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、社会保障・税番号制度、いわゆる

マイナンバー制度につきましては、本年一月から、各種申告書等への番号の記載がいよいよ本格化します。本人確認をはじめとする窓口対応においては、親切かつ丁寧な対応に努めてまいりたいと考えております。

間もなく平成二十八年分所得税等の確定申告の時期を迎えますが、本年もアズテックミュージアムにおいて、仙台南市内三署合同の相談会場として開設する予定です。申告・相談に当たっては、自宅等からの ICT を利用した申告の推進や適切な申告指導体制の構築により、一層の納税者サービスの向上に努めていくこととしております。

最後になりますが、仙台南法人会のままですのご発展と、会員の皆様のご繁栄を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

「2017新春講演会& 賀詞交歓会」ご案内

月日 平成二十九年一月二十三日
時間 講演会…午後四時
交歓会…午後五時四十五分
演題 「アジアの風を読む」
～日本を取り巻く世界～
講師 ジャーナリスト・
コリアレポート編集長
辺 真一氏

※講演会のみは無料(事前申込必要)
交歓会費 会員一五千元
非会員一六千元

お問い合わせは仙台南法人会まで

今年の干支は「酉」年。動物にあてはめると鶏になります。月にすると旧暦八月、時刻は夕暮れの午後五時〜七時、方位は西。五行では「金気」、陰陽では「陰」の属性を持ちます。十番目の干支ですが、何故十番目になったのかというと神様へ新年のご挨拶に行つた際、猿と犬の喧嘩を仲裁する為に、猿と犬の間になつた為とされています。「酉」いう字は酒壺を描いた象形文字で数千年前の甲骨文字に原型があり、最上部の「一」が蓋、下部がカメ(酒壺)を表します。これにサンズイが付加され液体の酒を表す様になりました。古代のお酒は、穀物を発酵して製造します。その穀物の収穫は農暦の八月頃。

干支とり

新しい風

そのことから作物が実り成熟の極限に達した状態を表しています。そして、鶏は人に時を報せる動物。「とり」は「取り込む」と言われ、商売繁盛などには縁起の良い干支とされています。

大島神社で行われる開運招福・商売繁盛を願う祭りで「酉の市」という江戸時代から続く代表的な年中行事があります。市での代表的な物は、縁起熊手という金銀財宝を詰め込んだ熊手で、運を「かつ込む」、福を「はき込む」といつて開運招福・商売繁盛を願つた江戸っ子らしい洒落のきいた縁起物です。翌年の更なる招福を願つて、年々大きな熊手に換えていくのが良いとされています。酉年は作物が実り成熟した状態の年とされています。商売繁盛の果の出る年として、常にアンテナを上げ運気を「取り込む」良い年にしたいですね。

申年生まれの特徴は：親切で世話好き。思慮深く世渡り上手なので交際範囲も広く、情報に敏感で時代を先取りする能力にすぐれています。頭の回転が早くバランスが取れており、備えるべき五徳(知・信・仁・勇・巖)を備えているといわれています。洞察力に優れ、細かいところにも良く気がつくことから客観

● 広報委員会が

パソコンに「干支」を検索、その中から文章をまとめました。





森林の恵みを次世代に

民有林整備は息の長い活動

林業には、林産物の供給、そして地球環境の保全という重要な役割があります。しかし、木材価格の低迷や就業者の減少・高齢化など、課題が山積しています。宮城県の林業の置かれている状況について、宮城県森林組合連合会で伺いました。



宮城県森林組合連合会
参事
加藤 浩氏



宮城県森林組合連合会
代表理事専務
浅野浩一郎氏

Q: 事業の概要を教えてください。

「宮城県森林組合連合会」（以下「県森連」）は、県内十六の「森林組合」の統括組織として、昭和十六年に設立されました。「森林組合」は、「民有林」を仕事とする団体です。「民有林」とは、都道府県や市町村が所有する「公有林」と、個人や企業が所有する「私有林」を合わせたもので、その面積は県土総面積の約三十九パーセントにあたります。各地の森林組合が植え・育て・伐採した丸太は、県森連の五つの原木市場、民間市場、製材工場などに供給されます。県内には石巻

市に全国有数の合板工場があるため、県の木材生産量約五十三万立方メートルのうち三分の二がそちらに流通し、約十三万立方メートルの販売を県森連が担っています。その他、伐採作業などで使う機械類の販売、山火事や自然災害に備える保険の取り扱い、各組合に対する指導などの業務を行っています。

Q: 東日本大震災の被害と復興状況について教えてください。

沿岸部の製紙工場、合板工場、製材工場は甚大な被害を受けましたが、現在ほぼ百パーセント復旧をしています。津波で流された海岸防災林は、名取・岩沼・亘理など県南部での復旧工事が進み、七北田川以北はこれから、というところがあります。

Q: 森林資源の有効活用のためにされていることは？

木材価格は、昭和五十五年以降下降線をたどり、木材の需要量も平成元年をピークに減少しています。このため、県内の森林は伐採の時期が延びて、収穫の目安となる三十六年生以上の森林が県内人工林の約八割に達しています。伐採量が減ると森林の活性化が図られず、「二酸化炭素吸収量の減少」「森林機能の低下」など、環境問題に直結します。森林を間引く「間伐」などの手入れを行いながら、木材需要の

拡大運動に務めているとこです。平成十二年、「公共建築物の建築には率先して木材を使いましょう」という法律ができた（公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律）。これにより、県内でも木造の庁舎、幼稚園、学校などが増えています。木の温かみ、調湿機能、移築できる利便性などが見直され、一部の仮設住宅や災害公営住宅でも使われました。

Q: 後継者の育成について

林業就業者の減少・高齢化対策として、「宮城県林業労働力確保支援センター」が、就業者の新規募集・技術者の養成・労働環境の改善に取り組んでいます。平成十五年に始まった「緑の雇用」は、未経験者でも森林の仕事に就き、技能を向上できるように、体系的に講習・研修を行う国の支援制度です。

Q: 一般の方へ

各地で行われる植樹祭や、山・木材市場・加工施設・木造モデル住宅などを巡るツアーは、林業に触れる絶好の機会です。ぜひご参加ください。（取材日 平成二十八年十一月七日）

宮城県森林組合連合会

仙台市青葉区上杉二丁目四番四十六号

TEL 022 (225) 5991



太田区
稲荷タクシー(有)
常務取締役
桃野 博行

法人会員の皆様、こんにちは。

当社は、昭和九年岩沼市の竹駒稲荷神社の門前でタクシー一台から始まりました。昭和十五年稲荷タクシー有限公司社を設立した後、仙台市、名取市、岩沼市、亘理町、石巻市、柴田町で事業所の開設・統合を進め、現在ではグループ会社を含め、百八十台余のタクシーが稼働しております。

今日までの八十二年の間には、自動車の普及と共に、ガソリンスタンド・立体駐車場、レンタカーなど、車社会に対応した地域の皆様に喜ばれる事業経営を進めてまいりました。

昨今では、PCやスマートフォンを利用した技術により、今後五年間のタクシー業に及ぼす変化は、大正元年以来の百年間のタクシーの変化より大きいのはと言われており、我々に大きな変革を求める時代になったのだと思います。

しかし、安全・快適・迅速な輸送サービスの提供という私どもの使命が変わることはなく、地域の皆様に、より愛され親しまれる会社を目指して日々努力してまいります。

この度は、ご挨拶の機会をいただき、ありがとうございます。

ですか
和の
私たちは

げんきの宅配便

(第五十四便)

ただいま、修行中!!

東永電算システム(株) 常務取締役 齋藤 尊文



会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。ごさいます。

仙台南法人会青年部

会仙台支部に属し活動している齋藤と申します。

新年度を迎えまして気持ちを新たに法人会活動に従事していく所存ですが、未だ入社十二年目の若輩者ですので会員皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

弊社は昭和五十年十月設立し四十二期目を迎え「信頼」を企業理念に法人会員の皆様、地域の皆様に支えられながら仙台南を中心に東北六県、関東地方に販路を拡げやってきました。私は営業職担当で、取扱商品がマイナーな流出防止等の観点からパソコンでのウィルスを防衛監視するセキュリティシステム、その他販売管理システム・会計・工事業等を含めた多種多様なシステム、また、運送、バス業界の特

化した弊社基幹システムであります運輸管理システムがあり車載機器と連動し様々なデータを自動取得するシステムがあります。それに伴ってコンピュータに関連するサプライ関連商品・連続帳票印刷並びに消耗品も販売しています。加えて運送業関連の安全運行や業務管理を支援するSDシステム、車載用としてスピード・距離・時間を管理並びに事故防止を抑制するデジタルタコグラフ、危険運転防止・事故防止等を管理記録するドライブレコーダー、高速道路並びに有料道路の渋滞緩和の観点から国が導入を推奨しているETC2・0などを手掛けております。近年では、昨年一月に起きた長野県の大学生十五名が亡くなったスキーツアーバスや高齢者による凄惨な事故が多発しております。ドライブレコーダーは貸切バスに至っては国での義務化が決定しており、運送、バス業界以外社用車にも導入している企

業、自家用車も増えて来ています。弊社は、今後も車載器、運行管理システムを通じて車社会での安全意識の向上に微力ながら尽力していきたい、少しでも事故の少ない社会に貢献したいと思っております。また、私自身は世の中の流れが日進月歩と言うよりは秒進分歩と言う時代で毎日新しいものが出来き自分の知識の無さを痛感しています。それを糧に日々勉強し、情報を得る為に得意先メーカーの講習会や他の勉強会等時間の許す限り出席し、ギャップを補っていきける様に頑張っております。これからも感謝の気持ちを忘れずに社員と共に一丸となり地域社会に貢献していきたい信頼される会社でありたいと思っております。

会員の皆様にはいろいろご指導を仰ぐ機会もあるかと存じますが、その節はよろしくお願い申し上げます。



お元気美名実

こんに



太田区 (株)ARI設計 取締役 泉 こずえ

法人会の皆様、こんにちは。いつも大変お世話になっております。弊社は、主人が仙台で独立開業して三十余年になります。私は、庶務と会計を担当しています。平成十五年には、(有)ARI環境開発という不動産業も立上げ、私が代表を務めています。業務の幅を少し広げて、連携して小さい事務所ですが、毎日忙しく過ごしています。主人がサラリーマン時代は、東京、大阪暮らし、それまでは子育てをしながら、のんびり専業主婦に過ごしていました。一転、雇われる側から雇う立場に環境が変わり、ひたすら前に向かって家庭と仕事をこなして来ましたが、これまで移り住んだ場所や仕事を通して、多くの方々々と巡り会い沢山の事を学ばせていただきました。そこには、いつも貴重な得る事があって、楽しく豊かになれる日々を過ごして来ました。女性部会に入会して年数だけは経ておりますが、色々な活動に参加しているのはここ何年かになります。役員の方々のご多忙な中、長年貢献されていて、皆様本当にパワーがあつて、元気・笑顔が溢れて感服させられます。恒例の老人ホーム慰問では、手づくり七夕飾りを作成して届け、一緒に飾ったり、歌ったり、私達のフラダンスを披露したりと様々なアイデアを駆使して、皆様精力的に活動をしていきます。少ない人数の集まりですが、いつも和やかで生き生きしている姿がとても素敵なんです。これからも猫の手で携わって行きたいと思っています。皆様のお元気と笑顔が続きます様に。この度はありがとうございました。

依然、厳しい経営環境にあって、業績向上と生産性向上が最重要命題といえます。そのためには、社員のモチベーションを高めていくことが何より重要であり、部下を率いる管理職者の果たすべき役割と責任はますます重きを増しています。

部下というと年下の若い社員をイメージしがちですが、近年は、定年延長・再雇用で年上の高年齢者を部下に持つ時代だけに、管理職者はしっかりと部下社員へのマネジメント能力を発揮していかねければ、業績向上どころか、職場風土さえも悪くしかねません。

本稿では、部下が抱く欲求不満はどこにあり、望まれる管理者・リーダー像を探ります。

部下が欲求不満になる原因を列挙してみます。意外に、欲求不満を生み出している原因は管理者である上司との関わり合いの中に、その多くがあるように思えてくるかもしれません。

部下の欲求不満と

望まれる 管理者 リーダー 像



経営コンサルタント 石嶺智明

● 指示が細かすぎる、押し付ける、忙しいのに次々と指示する。相談なしに決めてしまう。

● 情報を与えない、コミュニケーションが悪い、上下からの情報を止めてしまう。

● 頭ごなしに叱る、ネチネチと叱る、事実を確認せずに叱る。

● 提案や意見への返事をしなかったり、否定し採用しない、質問に答えない、レスポンスが遅い。

● 実績や能力を認めない、努力しているのに認めない、労いや感謝の言葉がない。

● 部下が苦しんでいるのに相談に乗らない、聞いておいて忘れる。

● 親身な指導に欠ける、部

下の成長に無関心、能力向上の機会を与えない。

● 仕事にしか関心がない、成績が全てと断定する、部下の人柄や人的側面に関心がない。

● 部下本人のいない所で悪口を言う、部下の名前を呼ばない、すぐ昔話をする。

いくつか当てはまる点があったでしょうか。欠点は誰にでもあるものですが、改めることもできるのが人間でもあります。

上述の指摘も踏まえ、望まれる、魅力的な管理者・リーダーになれる要点をまとめてみます。

まずは、前向きに姿勢を持つ事です。仕事にもプライベートにも積極的に取り組み、将来どうありたいか

のビジョンを語るだけの前向きな姿勢が欠かせません。管理者・リーダーの前向きに取組みと情熱は部下を駆り立て、部下自身も努力を怠らない自分になろうとするものです。

そして、仕事ができることとです。テキパキと人の2倍以上もの仕事をこなし、業績につなげる仕事をしていく人には尊敬の目を向けます。

そのテキパキとした仕事をこなす上では、仕事のやり方を創意工夫して取り組んできた事でもあり、部下が仕事上での悩みにも説得力を持ったアドバイスができ、尊敬を集めることは言うまでもありません。

目標や進め方の方向性を示すことができるのも欠かせないものです。

しかも、現状を分析し、どう会社があるべきなのか、そのために社員がどこに集中して取り組んでいくべきかといった指針を示すことができることは、部下の信

頼を厚くするものであり、部下の仕事への取組みが一段と成果を上げるものへと変えていくことができるのです。そして、方向性を示せたら、部下に権限を委譲し、任せることです。任せられた部下は意欲を持って取り組みます。

もし、任せた仕事があまく言っていないようであれば、部下の声に耳を傾け、適切なアドバイスをしてあげることで、さらに責任感と意欲が増すだけでなく、見守られているとの心の安寧を与えます。

そして、できた仕事に対して、誉めることも部下を大きく成長させます。叱ることも大事なことです。叱るばかりでは部下のやる気も失せてしまい、昨今言われる「3年以内離職」にもなりかねません。

何よりも、働くことを通じて、自身が達すべき人生の目的は何かを意識していくことで、輝ける管理者・リーダーになれるのです。

美名実活動 Photo レポート

第三十三回法人会全国大会

十月二十日
(木)、長崎県
(長崎ブリックホール)に
おいて第三十三回法人会全国大会、長崎大会が当法人会より二名の参加のもと開催されました。大会式典にさきだち「地方が生き残るために」と題してブライアン・パークガフ二氏の講演が行われました。



第二十五回親睦ゴルフ大会

十月二十日(水)、仙台空港Cにおいて第二十五回親睦ゴルフ大会が三十一名の参加のもと開催されました。皆



様から数々の賞品、ご協賛をいただき盛会のうちに終了することができました。ありがとうございました。結果は個人優勝・東海林一彦様です。

市内三会合同研修会

十一月十日(水) 戦災復興記念館において「営業力アップ七つのスキル」と題して研修会が開催されました。当日は多数ご参加のもと講師に(株)セールスリンク代表取締役佐藤なな子氏をお招きし、リーダーのための研修を行いました。



仙台太白支部

十月十九日(水) 午後五時より法人会会議室において、講師に(株)佐々通オンサイト鈴木崇氏を招き「タブレット初心者研修会」が開催されました。当日は会員のみならず一般の参加もあり、初心者にもわかりやすい研修会が行われました。



十月二十九日(土) 社会貢献事業と会

員親睦をかねて「第十三回太白山登山道清掃&親睦芋煮会」を行いました。休日にもかかわらず沢山の方のご参加をいただきました。来年も宜しくお願いいたします。



名取支部

十月十五日(土) 午前七時より、社会貢献事業の一環として「JR名取駅地区周辺」の清掃をおこないました。早朝にもかかわらず沢山の方のご参加をいただきました。



岩沼支部

去る十月十九日(水) 午前七時より、社会貢献事業の一環として「JR岩沼駅地区周辺」の清掃をおこないました。早朝から沢山の方のご参加をいただきました。



亘理支部

社会貢献事業の一環として「わたりトコトン商人まつり」が十月二十三日(日) 亘理町五日町商店街において開催されました。当日は、税理士による税の無料相談や小学生を対象とした「税金クイズ」の啓蒙チラシ等の配布を行いました。



十一月三日(木) 文化の日に「ふるさと名取秋まつり」が名取市民体育館前広場において開催されました。当日は、税理士による税の無料相談や小学生を対象とした「一億円レプリカ」の重さ体験、税の啓蒙チラシ等の配布を行いました。



十月二十七日(木) 亘理町しらかし通りにおいて「しらかし通りクリーンアップ作戦」を亘理ロータリークラブ・亘理高校の皆さんと一緒にを行いました。当日は、合わせて約八十名の参加をいただきました。



美名実活動 Photo レポート

青年部会名取支部

毎年恒例となっている名取支部会社対抗親睦ボウリング大会が十月二十八日(金)スターボウル名取店で一〇三名の参加の下行われました。沢山の商品のご協賛をいただき、ありがとうございました。



女性部会

十月十四日(金)、午前十一時三十分より法人会会議室において教養・人材育成研修会が開催されました。講師には楽天イーグルス国際部兼通訳佐野周平氏を招き「楽天イーグルス通訳の日々」と題して講話を頂きました。海外生活で培った語学力を活かし、公私にわたり外国人選手が最大限の力を発



揮できる環境をどのように作るかなど、とても興味深い話を伺うことが出来ました。また、実際に選手が使用したバット等を見ることが出来、貴重な経験となりました。

その後、梅の花にて人材育成研修会が行われ忙しい日常からしばし離れ、楽しい研修会となりました。

税を考える週間

十月三十日(日) ララガーデン長町一階正面入り口、二階・三階連絡通路において、仙台南税務関係団体協議会傘下の団体として「税を考える週間」の税の啓蒙活動として風船やチラシ配布等を行いました。



仙台南税務署長特別講演会

十一月十五日(火)太白区中央市民センター三階大会議室において仙台南税務関係団体協議会と共催で「税を考える週間」の特別講演として「国税に関する不服申立制度」と題して仙台南税務署長 佐々木伸氏を講師に迎え講



決算法人説明会

十二月六日(火)太白区中央市民センターにおいて十・十一月・十二月に申告期限を迎える法人を対象に「決算法人説明会」が開催されました。当日は申告書を作成する上で知っておきたい基礎的な知識を中心に研修をいたしました。一般・会員の方も含め沢山のご参加をいただきました。



税制陳情報告

当法人会では、仙台北法人会・仙台中法人会と共に十一月三十日(水)奥山恵美子仙台市長、仙台市議会議長。十二月十四日(水)村井嘉浩宮城県知事、宮城県議会議長へ直接、税制改正要望の陳情を行いました。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員企業の皆様には、おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。さて、今年の干支は酉年(とりどし)です。酉年の謂れを調べますと、酉年の特徴は、十二支や干支の考え方は、酉のつく年は商売繁盛に繋がると考えられています。酉(トリ)は「取り込む」に繋がるといわれ、そこから運氣もお客様も取り込めるといわれています。今年も皆様の成果が得られ、業績向上に結びつく一年になればと思っております。(広報委員 國井陽介)

仙台南法人会では広報誌「せんだい美名実」の設置場所の提供を求めています。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

広告募集中

当法人会では広報誌「せんだい美名実」など発送時に同封するチラシ折込広告を募集しております。お気軽にお問い合わせ下さい。(但し、広告内容によってはご要望に添えないことがあります。)

規格はA4版。一枚につき二十円(手数料込)

せんだい美名実 第301号

発行所 公益社団法人仙台南法人会
 仙台市太白区大野田二丁目一番四八号
 レジデンス王ノ壇二〇二号
 ☎〇二二―二四六―三六一四
 FAX〇二二―二四六―四五二〇
 E-mail: info@minamih.com

発行人 会長 相澤 十四男
 編集 広報委員 会